

成瀬の風

東成瀬村立東成瀬中学校

学校報：# 5

発行：令和4年5月30日(月)

生き方講座「私の果たす役割」

5月2日(月)に生き方講座が開催されました。講師はH.K.先生です。演題は、「私の果たす役割」でした。先生は、いろいろな方との出会いで考えたこと、学んだこと、これらの経験を基に決意したことを実行して継続していく大切さについてお話してくださいました。

お話の後に各学年から感想発表がありました。全員先生のお話をしっかりと心に刻み、自分の生活に生かそうというコメントが述べられました。



<生徒感想>

(1年)

僕は先生のお話の中で、自分を変えるためには「よい」と思った行動をすぐに行うという先生の行動力がとても印象に残りました。また、たくさんの人との関わりがあることで、自分が気付かされることもあるのだと思いました。今の自分には、積極的に行動することがあまりできていないし、様々な人との関わりも少ないので、これからの生活でよいと思ったことはどんどん行っていきたいと思いました。また、それと同時に、たくさんの人とコミュニケーションを取り、様々なことに気付いていけるようにしたいです。

(2年)

夢は思い続けることで叶うということが分かりました。先生の「打てば響く」という言葉のように自分の支えとなる大切な言葉を若い頃に見付けておくと人生がよりよい物になっていくと思いました。先生はたくさんの心に響く言葉と出会っているんだなと思いました。私もたくさんの言葉と出会い、様々な考えをもっていきたいです。私が心に残ったのは「置かれたところで咲きなさい」という言葉です。自分で咲く場所を選ぶのではなく、たとえ置かれたところで自分らしく咲くということだと思います。私だけの言葉をさがして生きていきたいです。

(3年)

私は先生の講座からたくさんを学びました。その中で私は3つの内容が心に残りました。1つ目は頼られる存在になるためには、自律と自立をするということです。自分で決めたことをやり直し、自力でできるようになることで、周りからの評価につながると思いました。2つ目はやりたいことを成功させるためには置かれたところで咲くことを手抜きしないことです。そうしないと大きな成果は出ないんだなと思いました。3つ目は「無理」と思っているときにどうしたらよいかです。先生は、「できない自分に腹を立てろ」と言っていました。

今3年生では総合の学習で「目指す大人像」について学習しています。今回の話は、私の目指す大人像になるためのヒントとなる内容でした。

体育祭「Run Fun Win」

5月20日(金)、「Run Fun Win」をテーマに、体育祭が開催されました。天候に恵まれ、大変充実した体育祭になりました。全校縦割りの「青、白、橙(だいたい)」の色別軍団に分かれて競技を行いました。生徒たちは一つ一つの競技を全力で楽しんでいました。また、仲間を応援したり賞賛したりする姿や一生懸命準備や運営に取り組んでいる姿を見ることができました。たくさんの保護者の皆様に観戦していただきました。ありがとうございました。



P T A 専門部会・常任委員会 開催

5月12日(木)にPTA専門部会・常任委員会が開催され、各部で事業計画等が立てられました。各事業へのご協力よろしくお願いします。

文化体育研修部 部長：K.T.さん
副部長：N.T.さん

- ・キバナコスモス通りの除草活動
7月24日(日)6:30~7:30
- ・教育講演会 講師：竹下和男さん
主催：村PTA連合会 共催：子育て支援チーム
後援：東成瀬村教育委員会

期日調整中

校外指導部 部長：K.N.さん
副部長：T.T.さん

- ・リサイクル活動 8月21日(日)8:00~
- ・秋の街頭指導 9月21日(火)~30日(木)
- ・危険箇所の点検 夏季(6月末まで)
冬季(11月末まで)

常任委員会では、次のことが話題になりました。
○羽後交通バスの運行が4月から変更になり、休日の部活動で登校するときに利用できなくなった。どうにかできないか。

→羽後交通がバス時刻について検討しています。

○危険箇所の改善はどうなっているか。

→国の管轄部分は国で、村のところは村で対応していただくよう働きかけています。

○キバナコスモスの除草活動で遠いところを除草する人たちは時間がかかる。

→みんなが同じ時刻に終了できるように、文化体育部で除草範囲を調整します。

成瀬ダム定礎式「期待の言葉」

5月14日(土)に成瀬ダム定礎式が行われました。定礎式とは、建造物の永遠の堅牢ならび安泰、繁栄を祈願する儀式で、礎石をダム本体に埋納するものです。この定礎式は、ダム完成時に行われる竣工式と並んで、我が国のダム建設における伝統的な行事です。定礎式では、全校生徒が「期待の一言」を書いたメモリーストーンを埋納するとともに、中学校生徒を代表して3年生のM.S.さんが「期待の言葉」を述べました。

「期待の言葉」

私たちの生活に欠かすことのできない水。炊事や洗濯などの生活用水、おいしいお米や作物を作る農業用水。水は私たちが生きていく上で、とても大切な存在です。

しかし、その水の元となる河川の水量は変動が大きく、渇水によって農作物の生長不良を引き起こしたり、大雨が続くと洪水被害が心配されたりと、水は私たちの生活に暗い影をおとすこともあります。

このような心配を減らし、私たちの生活をより豊かなものにしてくれる成瀬ダムに、私たちは大きな希望を抱いています。

ダムのさまざまな役割として、生活用水への利用、流水量を保ち洪水を防ぐことなどが挙げられます。成瀬ダムから供給される自然豊かな成瀬の水が、広く県南地域で使用され、日本有数の米どころ秋田をさらに発展させる力となるでしょう。また、成瀬ダムでは水力発電が行われると聞きました。水力発電による再生可能エネルギーが用いられることで、温室効果ガスを削減し、地球温暖化対策への貢献も期待されます。

そして、私が何よりも期待したいことは、洪水被害を減らす効果です。最近では、令和2年の7月豪雨。九州地方で、河川の氾濫により多くの命が失われました。秋田県でも平成29年の豪雨により雄物川が氾濫し、家屋の浸水や農業設備の損壊などで20億円以上の被害が出たことは記憶に新しいところです。

成瀬ダムは大雨が発生した際に、一部の流水を溜めることで、成瀬川、皆瀬川、雄物川地域の流水を調節し、周辺の市町村の洪水被害を軽減します。私たちの命を救い、生活を守ることができる成瀬ダムに私はとても期待しています。

そんな成瀬ダムへの期待の一方で、私はダムの建設によって東成瀬村の自然が失われてしまうのではないかと思い、成瀬ダムで行っている主な自然環境への取組について調べてみました。するとダムの建設にあたり、希少な植物の移植を行ったり、希少猛禽類への配慮として工事の騒音を軽減する工夫を行ったりなど、さまざまな環境保全対策がなされていることが分かりました。東成瀬の美しい自然が守られながらダムが作られていることを知り、とても安心しました。

成瀬ダム工事に携わる方々の努力のもと、私たちの命を守り、暮らしを豊かにする成瀬ダムが建設されている事を、とても嬉しく思います。

これからも、この東成瀬村が成瀬ダムとともに発展し、美しい自然と水の恩恵を受けながら、豊かな生活を送っていただけることを願っています。

令和4年5月14日

東成瀬中学校

M.S.

